

学校教育目標 『夢を抱き いきいきと輝く 横大路の子』

めざす子ども像 ○進んで深く考える子 ○思いやりのあるやさしい子 ○心も体も元気な子 ○最後までねばり強くがんばる子

保護者による評価

教職員による評価

学校運営協議会理事の皆様からのご意見

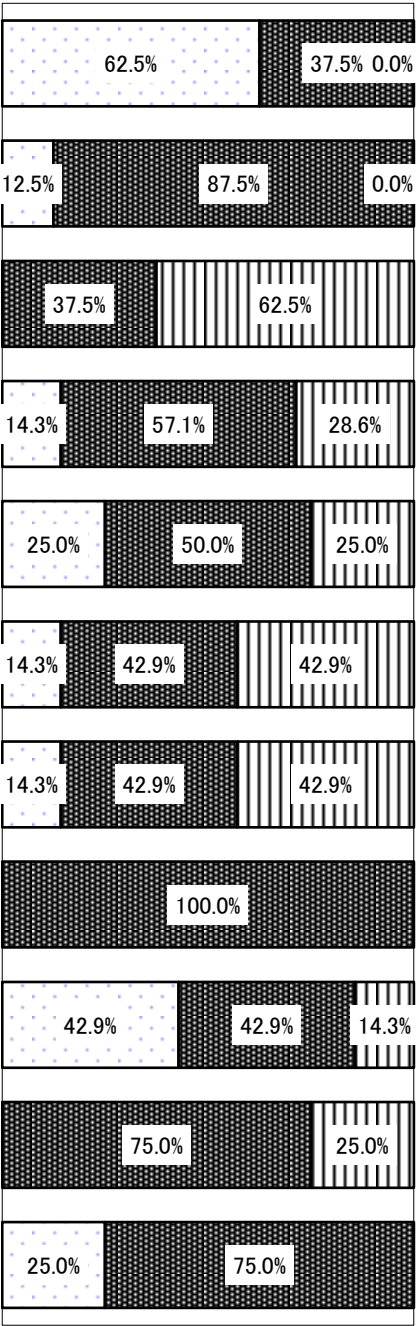
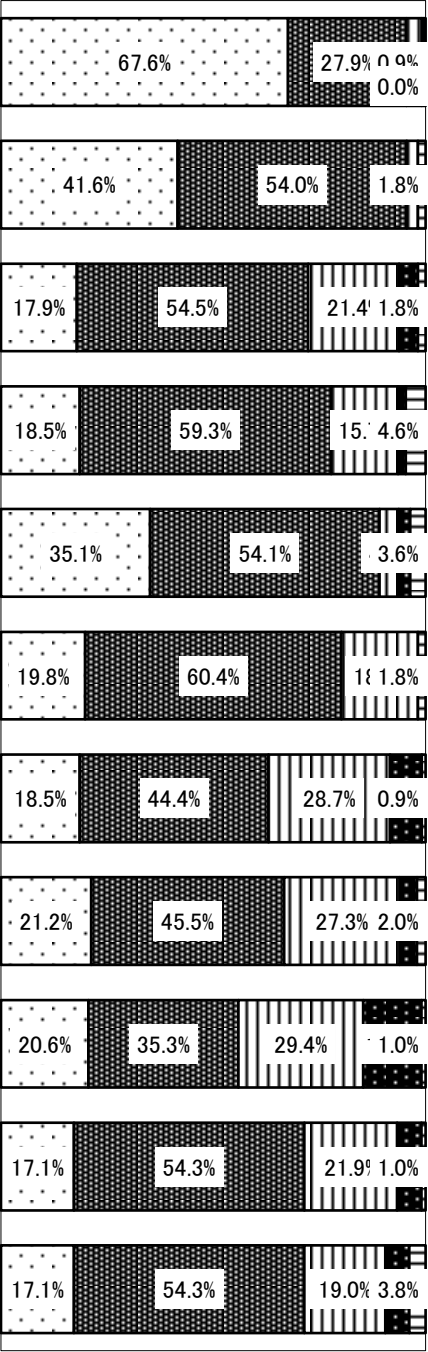
○世代の交代は、地域にもPTAにもある。そんな中で私たちにできることは、古き良き伝統や生きていく知恵を伝えていかねばならない。

○教職員も若手が増えてきている。若い先生とベテランの先生と協力し合って互いの良さを発揮して、子どもの指導にあたることが大切だと思う。

○いじめの問題など社会的な問題になっているが、命の大切さや相手を思いやる気持ちは、授業を通して学校生活の中でご指導をいただいているところだが、現実起こった時に自分で善悪の判断をする力や、考える力が十分に育っているとはいえない。学校だけではなく家庭とともに子ども達を見守っていくことが大切であると言える。

また、携帯電話によるトラブルやテレビの情報から得た知識で自分ではわからずに判断して、大きなトラブルに巻き込まれるような事件が社会では起こっている。子ども達に教えていかなければならないことは学校の取組や関わりだけではなく、この点においても家庭の、しつけによる部分が多い。家庭も、より一層学校と連絡を密にして、家庭での子どもの成長をしっかり見る必要があると思う。また地域としても子ども達の安全を見守るとともに、学校からも地域に発信していったほしい。

学校へ進んで通う。
だちと仲良くする。
自分からあいさつする。
相手に合わせてやさしいことばづかいをする。
学校や学級のきまりや約束を守る。
授業中しっかり話を聞く。
授業中進んで発表する。
授業中ノートをていねいにまとめる。
本を読む。
宿題をきちんとやり、計画的に家庭学習をする
チャレンジ検定・ノート大賞・読書大賞に主体的に取り組む。



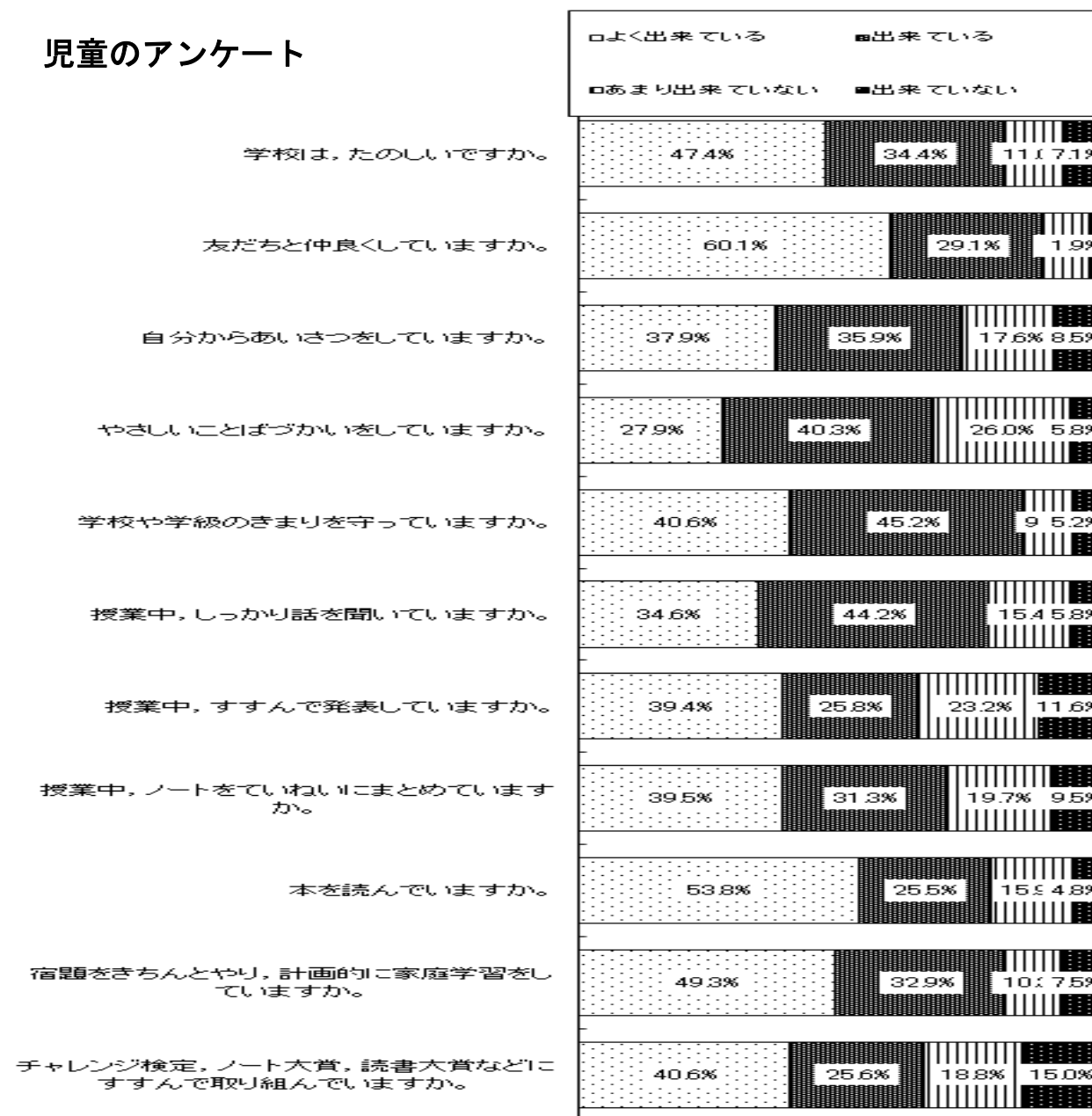
横大路小学校だより

3 月臨時号

平成27年3月19日
京都市立横大路小学校
校長 門田秀司

集計結果をご報告します。今回保護者の皆様からは130名の回答をいただき、74パーセントの方のご意見を反映させていただいています。前回に比べて6パーセント増えています。保護者の方の学校評価に対する意識が高まってきていることを嬉しく思っております。今後もより多くの方のご意見を反映させていただけるように働きかけていきたいと思ひます。

児童のアンケート



学校でも取り組んでいます

○前期と比較すると、「学校は楽しいですか。」「あいさつをしていますか。」「やさしいことばづかいをしていますか。」については大きな変化はありませんが、「友だちと仲良くしていますか。」については「よくできている。」と答えた児童の割合が5パーセント増えています。友だちとの関わりが安定してきているといえるのではないかと思います。あいさつについては、朝の登校時の様子では、あいさつができていない児童の数は増えてきていると感じます。しかし、まだまだ不十分さがみられるので、継続して取り組んでいきたいと思っています。

○「授業中進んでしっかり話を聞く。」「授業中進んで発表する。」「ノートをていねいにまとめる。」ことについては、いずれの項目も大きな変化が見られませんが、教職員の評価や保護者の方の結果と比較してみて、できていると感じられないところをとらえて、今後、日常的な取組の中で工夫していきたいと思ひます。またチャレンジ検定・ノート大賞・読書大賞などの取組についても、教職員が共通認識のもと日々ていねいに取り組むことで、できたと感じる児童や教職員の割合が増えていけるようにしていきたいと考えています。

学校と家庭の連携を密に

○学校では、スキルタイム・読書タイム・チャレンジ検定・ノート大賞・読書大賞の取組や学習の基礎基本の定着を図り、学力を高めるために今年度は冬休み中の補習に取り組むなど、「学力向上プラン」に取り組んでいるところです。普通授業を充実させ家庭との連携を図ることが、子ども達の学力向上につながると考えます。今後も学校での取組を保護者や地域の皆様にきちんとお知らせして、様々な子ども達の活動の様子をもとに保護者の皆様との懇談や話し合いを行い、学校と家庭との連携を密に図っていきます。保護者の皆様も、より一層学校に足を運んでいただければありがたいです。ホームページや学校便りの充実をさらに考えていきます。